

羽越水害から50年

あの記憶を次世代へ

昭和42年8月28日、死者行方不明者34名、流出・全壊家屋37棟の壊滅的な被害をもたらした「羽越水害」が発生しました。「羽越水害」から50年が経過し、防災対策が進んだ現在、「羽越水害」の甚大さを知る人が少なくなってきました。

一方で、全国的にゲリラ豪雨の発生による災害が毎年のように発生し、危険性は増してきています。

「羽越水害」から50年が経過する今年、「羽越水害」を語り継ぐため、さまざまなイベントが開催されています。今回、金俣集落で行われた取り組みと当時の体験談を紹介します。



▲集落センターでDVD鑑賞



8月14日、羽越水害の経験を次世代へ伝えようと、金俣集落で羽越水害のDVD鑑賞がおこなわれました。

お盆の帰省客もあり、集落センターには、小学生からお年寄りまで大勢集まりました。スクリーンに災害復旧の様子が映し出されると、「炊き出しで忙しかった」、「休みなしにブロック積みをした」など、当時を思い出していました。DVD上映後も、集落の皆さんで懇親を深めながら、お年寄りから若い世代へ当時の体験談が伝えられました。



高橋 博さん
(金俣・87歳)

8月28日、集落の若い人たちは、みんな山へ炭焼きに出かけていました。その日も小川のバンジョウ沢付近で、お昼になり、随分雨が降ってきた、いつもより激しい雨だなぁと話をしたのを憶えています。その後雨は一向に止まず、仕事にならないので家に帰ることにしましたが、川はどんどん水嵩を増していき、小川はこいで渡ることが出来なくなり、峰をつたって帰ってきました。その頃は、まだ大水害になるとは思っていませんでした。

しかし、雨は止まず、夕方からは、消防団員として巡回に周り、小川堤防で土のうを積む作業にあたっていました。すると、隣の大石集落で行方不明者が出たという連絡が入りました。すぐに大石へ向かい、1時間近く搜索したでしょうが、無事見つかりました。その帰りに、大石の橋を渡るとさらに増水していて、道路は水が溢れ、歩くことが出来ず、山側の田んぼ道を通って、やっと戻ることができました。すると今度は、役場から避難命令があり、皆さんを避難させるよう、集落を走り回りしました。なかなか避難をしても出来ない家もあり、何度か何度も声をかけに走りました。時間が経つごとに水嵩は増し、胸まで水に浸かりながら、背中におんぶして、避難場所の神社まで誘導をしました。午後7時頃には、避難誘導を終えることが出来ました。

午後8時過ぎになると、さらに雨は激しく降り、屋根からバケツでまいたように降り、すごい音がしました。避難場所から家や小屋が流されるのを見ていることしか出来ませんでした。金俣では、家屋が20軒ほど流され、田んぼは泥で埋まってしまいました。被害の少ない4軒の家に、集落のみなさんで1ヶ月くらいお世話になり、復旧作業をしました。一番大事なのは命です。災害や危険な時に遭遇した場合は、逃げるのが大切です。みなさんも命を大切にしてください。

「後期高齢者医療制度」のお知らせ

Vol.15 ジェネリック医薬品を上手に利用しましょう

ジェネリック医薬品とは

ジェネリック医薬品は、最初に作られたお薬（先発医薬品）の特許が切れた後に販売されます。同じ有効成分で、ほぼ同等の効き目や安全性がある低価格な医薬品です。

安価で経済的です

ジェネリック医薬品は、先発医薬品と比べて価格が安いのが特徴です。

先発医薬品をジェネリック医薬品に切り替えることで、ほぼ同等の効き目や安全性があるお薬を使いながら、お薬代を減らすことができます。

また、医療費も削減されることから医療保険制度の安定的な運営も期待できます。

効き目や安全性は先発医薬品とほぼ同等です

ジェネリック医薬品の有効成分は、先発医薬品において使用されており、その成分の有効性や安全性は確認されています。

国では、ジェネリック医薬品が先発医薬品と同レベルの品質・有効性を有するかどうかについて、厳格な審査を行っています。

ジェネリック医薬品を使用するには

先発医薬品をジェネリック医薬品に切り替えるときは、医師や薬剤師にお薬の効果や副作用など、今使っているお薬と異なる点について詳しく確認しましょう。



医師・薬剤師の皆様へ

ジェネリック医薬品希望カード

私はジェネリック医薬品を希望します



「ジェネリック医薬品希望カード」を活用しましょう

医師や薬剤師に「ジェネリック医薬品希望カード」を提示して希望を伝える方法もあります。

左のカードは、住民福祉課にも用意しています。

- ★新潟県後期高齢者医療広域連合では、現在服用されている薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合に、薬にかかる自己負担額が一定額以上軽減する方へ「ジェネリック医薬品に関するお知らせ」を送付しています。
- ★このお知らせによって、必ずジェネリック医薬品に切り替えなければならないということはありません。